

施策評価シート(平成26年度評価実施)	担当部課名	市民福祉部 長寿課	関連部課名	
基本目標	笑顔で安心して暮らせるまちづくり【健康・福祉】			
施策名	高齢者支援			
高齢者が住み慣れたまちで安心して元気に暮らせるように、在宅福祉サービスの充実や、家族介護の支援、地域福祉活動の充実、介護予防や健康づくり、就労支援や生きがいづくり支援、社会活動参加支援などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らせるように、地域が協力して支援しています。 ●高齢者が介護予防や健康づくりに取り組み、元気に長生きしています。 ●高齢者が社会活動に参加したり、趣味に取り組んだり、生きがいをもって暮らしています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 住み慣れた地域で安心して暮らすための施策

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
緊急通報装置の整備(設置台数)	574台	565台	600台
食の自立や安否確認のために 高齢者のみ世帯に弁当を配達する	16,923食	16,623食	17,000食

2 介護予防や健康づくりに取り組むための施策

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
二次予防事業対象者の 運動教室への参加	延べ584人	延べ644人	延べ650人
一次予防事業対象者の 運動教室への参加	延べ1,056人	延べ1,401人	延べ1,420人

3 生きがいをもって充実した生活をおくるための施策

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
老人福祉センターの利用日数	245日	243日	245日
老人クラブの加入者数	3,413人	3,409人	3,311人
シルバー人材センターの会員登録者	479人	472人	500人

◆評価指標

指標名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	将来目標
緊急通報装置での通報回数	目標値	-	-	-	-
	実績値	186回	144回		平成32年度
介護予防教室の開催回数	目標値		136回	145回	272回
	実績値	134回	142回		平成32年度
老人福祉センターの利用者	目標値		47,000人	45,000人	55,000人
	実績値	46,106人	42,209人		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
緊急通報装置での通報回数	緊急通報装置の設置台数は東三河地域では高齢者人口に比して格段に多いため、通報回数が多いが緊急性の高いものばかりとはいえない点が問題である。
介護予防教室の開催回数	高齢化率が県下上位の当市における要介護認定者数を増加させないため、介護予防教室を開催し持続する自主グループを地域に作ることで継続した介護予防支援につなげていく。
老人福祉センターの利用者	健康で明るい生活を送るため娯楽、休養、健康増進を目的としてふれあい入浴、健康相談、生活相談や各種クラブ活動や体操教室を開催し、生きがいのもてる生活が送れる憩いの場を提供する。

◆指標の分析

<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報装置については、現在消防署に直結した方法で行っているが、救急の場合以外での誤作動や無用な相談等が相当件数あり、このことで本来の業務に支障があるとの指摘があり、平成24年度より誤報が少ない機種に変更を行うなどの対策を講じ、一定の効果があつた。今後も貸出しを行う際の説明に主旨を十分理解していただくよう工夫が必要である。 ・寿楽荘利用については、節水による風呂利用停止期間があり利用者の減少となった。入浴が利用目的の主なものとなっている。 ・介護予防教室教室に参加されているうちは、運動機能の低下はみられてはいないが教室終了後の生活状況で元気である方、介護保険の申請が必要な方など様々であるが、自主グループを作って参加されている方は機能の低下のみられない方が多い。運動機能の向上を目指すためには継続していくことが必要である。 ・魅力ある活動を提供することで利用者は年々増加している。利用者アンケートでも満足度は高いためリピート率は良く、毎日利用する方も少なくない。

◆今後の方針

<p>施策の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報装置は現在、消防署に直結しているが、消防の広域化に伴い第三者機関に変更してほしいとの要望がでているが経費も絡むため早急の対応は困難である。今後は相談は受け付けないことから、生命に危険が生じたときのみ使用限定で豊橋の救急司令センターへの直結を消防部局と連携しながら導入を図ることを検討を進めるため、今年度シルバーハウジング以外分はすべて誤報の少ない機種に変更する。 ・二次予防事業対象者のうち通所型介護予防教室に参加することの出来る該当者は24年度611人、25年度598人とほぼ横ばいの傾向であるが教室に参加したいという希望者は増えてはいない。PR不足や内容などニーズにあったプログラムの提供がされているかの検討をする必要がある。今年度より教室関心をアンケートにて確認し教室勧誘を行っている。

<p>今後の施策展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近では認知症の急激な増加が見込まれ問題視されており、介護予防のうち認知症予防について、市民の方により分かりやすく興味を持ってもらうための周知、教室の規模拡大を図ってゆく。また既存の教室についても、今後も教室参加者にアンケート調査を行うなどして要望にこたえて事業を展開していきたい

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	高齢者支援における中核的事業となる介護予防事業については、平成27年度から要支援1,2の方も新しい総合事業として加わってくることから当事者がより一層興味関心を引き、かつ継続的に参加しやすい業務展開を図っていく必要がある。

部長評価	施策の 進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	<p>本市は県内都市部において高齢化率が上位であるが、要介護度の高い認定者の比率は特段高くはなく、比較的元気なお年寄りが多い。しかし、その一方で要介護度の低い認定者・要支援者の比率が高いことから、介護予防事業の充実が今後の重要課題である。そこで、高齢者が住みなれた地域で安心して元気に暮らせるよう生きがい対策の充実を図るとともに、介護や認知症の予防と健康づくり、高齢者の社会参加を促す施策などを重点的かつ早急に展開していく必要がある。現在、脳トレ筋トレなど各種運動教室の開催やふれあい入浴を通じて憩いの場を創出し、それなりの実績と評価は得ているが、まだまだ施策が広く市民に理解されていない。また、介護保険法の改正に伴い、市が実施責任を負う総合事業のH27～29完全実施に向け、市民のニーズを十分把握・理解し、より多くの高齢者の参加が見込まれる支援事業の実施と、より満足度の高い高齢者福祉サービスの提供が求められる。</p>

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の種類別	市長マニフェスト	実施計画
1-4	福祉課	133	地域福祉サービスセンター事業	10,782	618	0.07	A	オ	4	○
1-4	福祉課	135	ボランティアセンター運営補助事業	1,400	618	0.07	B	オ	—	○
1-4	福祉課	136	在宅福祉サービス事業	1,402	1,082	0.12	B	オ	4	○
1-4	福祉課	137	社会福祉協議会運営事業	16,989	2,060	0.23	B	オ	—	○
1-4	長寿課	168	老人ホーム措置事業	3,055	1,372	0.25	A	ア	4	○
1-4	長寿課	169	老人福祉センター管理運営事業	43,774	2,048	0.25	A	カ	4	○
1-4	長寿課	170	生きがい活動支援事業	14,527	2,183	0.30	B	オ	4	○
1-4	長寿課	171	高齢者生活支援事業	9,449	2,744	0.50	A	カ	4	○
1-4	長寿課	172	高齢者福祉推進会議設置事業	74	946	0.10	A	イ	4	×
1-4	長寿課	173	低所得者利用者負担対策事業	282	251	0.05	A	ア	4	×
1-4	長寿課	175	生きがいセンター管理運営事業	18,347	367	0.05	A	カ	4	○
1-4	長寿課	176	高齢者健康と生きがいづくり推進事業	66	251	0.05	B	カ	4	×
1-4	長寿課	177	蒲郡市デイサービスセンター管理事業	0	367	0.05	B	カ	4	×
1-4	長寿課	178	地域支援事業	99,839	12,613	3.35	A	ア	4	○
1-4	長寿課	179	養護老人ホーム管理運営業務	73,254	367	0.05	A	ア	4	×
1-4	長寿課	180	介護保険給付事業	5,016,402	13,597	2.50	A	ア	4	○
1-4	長寿課	181	介護保険賦課・徴収事業	7,972	22,437	3.40	B	ア	4	×
1-4	長寿課	182	介護保険認定審査事業	51,510	33,028	8.50	B	ア	4	○
1-4	長寿課	183	社会福祉法人認可・指導監査事務事業	0	367	0.05	B	ア	—	×